



COTY

2008.2.20

コーセー、英メイクアップブランド“リンメル” 日本に続き、中国での展開開始

株式会社コーセー(東京都中央区、代表取締役社長:小林一俊)と、コティ社[Coty Inc.](本社:米国・ニューヨーク、最高経営責任者[CEO]:バーンド ビーツ[Bernd Beetz])は、コティ社が持つメイクアップブランド“リンメル”の中国における輸入・製造販売に関してライセンス契約を締結しました。これによりコーセーは“リンメル”製品の輸入、並びにライセンス契約に基づく現地製造を行い、2008年6月より中国市場での販売を開始します。

“リンメル”は1834年に英国で創設されたメイクアップブランドで、英国ではマスメイクブランドの販売シェアNo.1と、圧倒的な支持を得ています。ターゲットは10代後半~20代のロンドンファッションに共感する女性で、「ゲット ザ ロンドンルック」をブランドコンセプトに、「グラマラス」で「クール」なメイクアップイメージを提案しています。現在イメージキャラクターには英国出身のファッションモデル「ケイト・モス」を起用し、ヨーロッパ、アメリカ、カナダ、オセアニアなど、50カ国以上の国々で幅広く展開しており、セルフ販売のメイクアップブランドとして高い認知率と売上げを誇っています。

日本では、すでに2006年3月に日本における輸入・製造販売のライセンス契約をコーセーが取得し、同年9月よりバラエティショップを中心に販売を行ってききましたが、日本以外のアジア地域での展開は今回が初めてになります。中国に向けては、“リンメル”のブランド価値に、コーセーが日本で培った高い製品開発力を加え、中国女性のメイクアップスタイルや嗜好を取り入れた新たな製品を開発・導入することになります。

製品は上海を主とした沿岸部の百貨店とドラッグストアにシンボリックショップを構え、コーナー展開によるカウンセリング販売を予定しています。今後3年間で300店を目標に、中国市場におけるマスメイクアップブランドとして基盤を固め、愛用者の拡大を目指していきます。



日本での雑誌広告

<製品について>

発売アイテム: ポイントメイクアップ・ベースメイクアップ 25種 134品
発売価格帯: マスカラ 68~78 元、アイシャドウ 43~78 元、口紅 48~58 元、
ファンデーション 43~78 元

リンメル [RIMMEL]

URL : <http://www.rimmellondon.com>

ブランドコンセプト: 「GET THE LONDON LOOK」

常識を打ち破るロンドンガール。先進的なロンドンメイク。

主な導入国と販売拠点 :

ヨーロッパ: ブーツ・テスコ他

アメリカ: ウォルマート・ウォルグリーン・ブルックス他

日本: バラエティショップ他

コティ社 [Coty Inc.]

(本社: 米国・ニューヨーク、最高経営責任者[CEO]: バード ビーツ[Bernd Beetz])

URL : <http://www.coty.com>

1904年 化学者フランソワ コティがパリにてフレグランス事業で創業。

フレグランスを中心に世界80カ国以上で販売、欧州を中心にマスとプレステージ市場をもつ。

生産拠点は米国(サンフォード[Sanford])、英国(アッシュフォード[Ashford])、

スペイン(グラノリエルス[Granollers])、仏国(シャルトル[Chartres])

従業員25カ国約8000人

株式会社コーセー

(本社: 日本・東京都中央区、代表取締役社長: 小林一俊)

URL : <http://www.kose.co.jp>

1946年 小林孝三郎が東京にて化粧品会社として創業。

日本を中心にアジア全域で消費者ニーズに合ったブランドを最適な流通チャンネルに配置するという独自のブランドマーケティングを展開し、新たな市場を切り開く製品開発力が特長。

生産拠点は日本(埼玉県・群馬県)、中国(浙江省杭州)、台湾(台北)

従業員約5000人